

※ 今週のアウトルック (8/19~8/23)

先週は、円高ドル安が一服、リバウンドから戻りを試しにくく場面もありました。全般的なトレンドに変化はないものの、売り疲れ感も強くなっているようです。

今週は、再び下値を試しに行く場面もあるかもしれませんが、材料不足から、これ以上の円高ドル安は難しいのかもしれない。

先週ドル円は、火曜日にリバウンドが優勢となり、一気に107円近くまで上昇しました。その後、再び売りが優勢となったものの、106円台中盤で週末を迎えています。

今週は、107円のレジスタンスと105円のサポートに挟まれ、このレンジでの動きとなる可能性が高いかもしれません。

ただ、米中貿易摩擦の悪化懸念からNYダウの急落、リスクオフセンチメントの拡大という展開になった場合には、急落の可能性に注意する必要があるようです。

ドル円の予想レンジは105円から107円です。

ユーロ円は、火曜日に一度は反発したものの、再び117円割れを目指す勢いは衰えてはいないようです。

今週は、ユーロドルが1.13あたりのサポートラインを割り込むかどうかのポイントとなりそうですが、割り込んでしまった場合にはユーロ円の急落も避けられそうにはない状況です。

ユーロ円の予想レンジは115円から120円です。

ポンド円は、一時的に利食いによる買い戻しが優勢になっているものの、130円を超えてこない限り、下落トレンドに変化はないように思います。

ポンド円の予想レンジは125円から132円です。

利食い売り、買い戻しが優勢となる中、今週後半あたりからはサポート割れを狙った売り再開の可能性もあるため、米中貿易摩擦などに関する要人発言には十分な注意が必要ないように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。